

たま通信 (番外編)

平成17年1月13日 医療法人いちろ会 小児クリニックたまなほ

最近話題のノロウイルスによる感染性胃腸炎についてお話しします。

Q1 どうやって感染するのですか？

ほとんど経口感染です。汚染された貝類や患者の便・吐いた物からの二次感染です。

Q2 どんな時期に発生しやすいのですか？

毎年11月から1～2月がピークです。

Q3 どんな症状になりますか？

潜伏期間(感染から発症までの期間)は24時間～48時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。

通常、これらの症状が続いた後、治癒し後遺症もありません。

Q4 治療方法はありますか？

このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。通常、脱水症状がひどい場合に点滴を行います。

Q5 診断のためにどんな検査をするのですか？

患者の便や吐いた物からウイルスを検出できますが、18,000～20,000 円程かかります。(自費)

Q6 生カキが食中毒の原因として多いと聞きましたが？

本当です。他に大アサリ、シジミ、ハマグリなど二枚貝が原因となります。

Q7 加熱処理が有効と聞きましたが？

85℃、1分以上の加熱を行えば、感染性はなくなるとされています。まな板、包丁、食器、ふきん、タオルは**熱湯消毒が有効**です。

Q8 患者の便や吐いた物を処理する際に注意することはありますか？

使い捨てのマスクと手袋を着用し、ペーパータオルで静かに拭き取ります。その後次亜塩素酸ナトリウム(200ppm)で浸すように拭きます。乾燥すると容易に空中に漂い、これが口に入って感染することがありますので、便や吐いた物は乾燥させないことが感染予防に重要です。